

生き抜く力確立委員会事業計画

生き抜く力確立委員会 委員長 池田 陽一

少子高齢化による労働供給制約を抱える中、AIなどの第4次産業革命を取り入れたイノベーション活動の高まりや、海外成長市場を取り込むためのグローバルな経済活動など、取り巻く環境変化を踏まえた競争力の向上が求められています。この環境変化を「価値を生み出す」チャンスと捉え、多様化する働き方の中でも生き抜ける独創力という人間的資質を備えた人材を育成するとともに、次代に引き継いでいける育成環境の確立が必要です。

まず、誰しもが兼ね備えている意思力を呼び起こし高めるために、様々な分野の先駆者から学びを得る機会を提供し、情熱溢れる行動で新たなことに挑戦し成し遂げている根源を感じ取り自分に落とし込むことにより、参加者に成長動機である理想を追求する行動変化を創出します。そして、多角性のある思考力を兼ね備えるために、課題を自ら考え解決策を探す研修事業を実施し、過去の文献や世界中の英知を仲間達と精査・判断・処理することにより、課題解決の糸口となり得る次なる行動変化を創出します。さらに、強靱な実践力を鍛えるために、一年間を通じ様々な新しい一歩目に挑戦できる機会を提供し、それを解決する知恵に気づき、多くの行動や経験を積み重ねて小さな成果を築くことにより、メンバー全員に自分の価値を信じる力である自信を創出します。また、次代のアカデミーメンバーへの集団指導力育成の継続可能な環境を確立するために、生き抜く力育成システムの新規開発・パッケージ化並びに、三分間スピーチ・お仕事出前授業の改良をすることにより、LOMならではの魅力的なリーダー育成システムの長期的な発展をもたらします。

独創力を兼ね備えた青年経済人である我々が率先して行動し、自分の価値を高めつづけて地域の経済成長に貢献するとともに、育成環境の継承により組織の長期的な好循環を創出し、県東地域の光り輝く発展に寄与し続けるLOMを実現します。誰かの笑顔のために。

<事業計画>

1. これからの時代を力強く生き抜く青年としての力の確立
2. 真岡青年会議所が日本一に飛躍するための拡大運動
3. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力